

健康経営の評価・改善

直近3年でみると、健康課題としている有所見率は悪化しています。

主な要因としては、入社に伴う血圧の有所見率増加に改善が追い付いつかなかったと分析しています。しかしながら、運動習慣や食生活等の生活習慣改善に伴う活動により、脂質で3%の改善がみられ、活動による一定の効果があつたと評価しています。

プレゼンティズムや会社が定める健康管理指標取組数(従業員個々の健康意識)は改善しており、その結果、勤続年数も増加する効果が現れています。

しかしながら、一部の年代でプレゼンティズムが年々低下しているため、対象となる従業員の声を聞き、今後の制度設計や対策内容に反映できるよう進めます。

健康経営を推進することで魅力ある会社となり、当社に関わる多くの方が”すまいる”になれるよう会社一体となって、健康経営を継続して推進いたします。